

いちご病害虫情報第1号(6月)

令和元(2019)年6月14日
栃木県農業環境指導センター

○今月の病害虫発生状況○

- ・ **うどんこ病**、**炭疽病**、**萎黄病**の発生は少ないです。
- ・ **ハダニ類**、**アブラムシ類**の発生は平年並です。

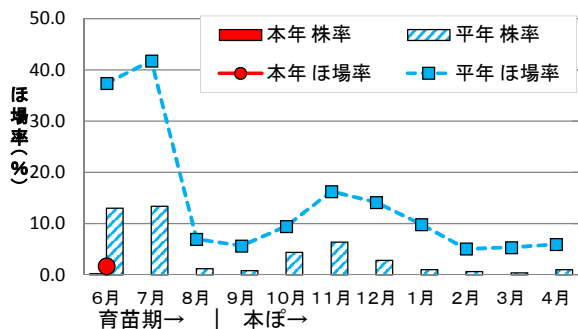


図1 うどんこ病発生ほ場率・株率

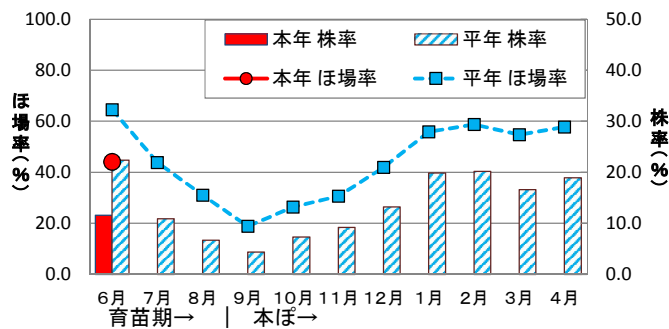


図2 ハダニ類発生ほ場率・株率

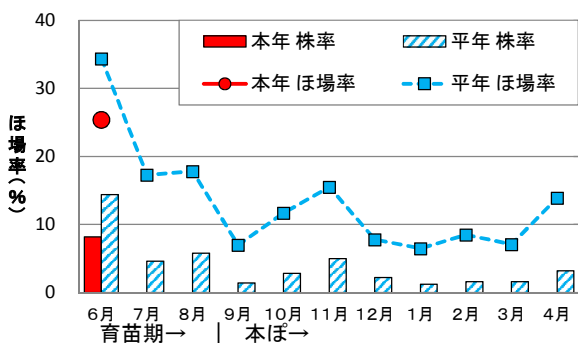


図3 アブラムシ類発生ほ場率・株率

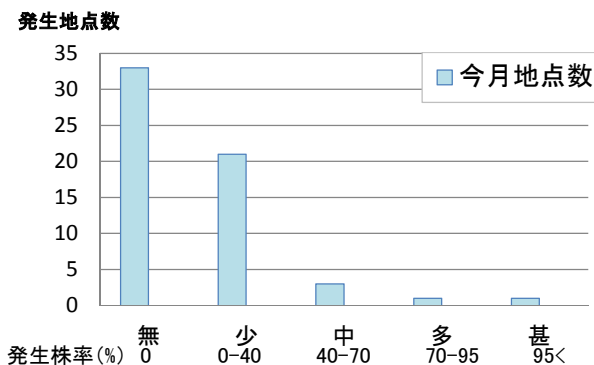


図4 発生程度別の地点数(ハダニ類)

○今月の技術情報 (技術指導班) ○ (6月)

・梅雨入りが6月7日(平年よりも1日早い)頃でした。それまでは、高温傾向で晴れの日が多かったため、うどんこ病、炭疽病等の病害の発生は平年よりも少ない状況でした。一方、害虫ではアブラムシ類、ハダニ類の発生が確認されていますので早期発見と早期防除に努めましょう。

・今後、曇雨天が多くなり高温多湿になると病害が発生しやすくなります。育苗ほ場の観察と発生予察情報を参考に防除意識を高めましょう。

・まもなく採苗作業が始まります。良質苗を確保するためには、この時期の適切な管理が重要です。適期に活着促進を図るとともに、活着後は積極的に日光に当て、極端な乾燥・過湿の状態にならないよう適切なかん水管理が求められます。

・特に、梅雨明け後の挿し苗による採苗は、活着率が著しく低下します。今後の天気予報等を注視し計画的に採苗作業を進めましょう。



写真1 葉に発生したうどんこ病



写真2 ナミハダニ